

献血に御協力をお願いします

人間の生命を維持するために欠くことのできない血液は、まだ人工的に作ることができません。
また、血液は生きた細胞であり、長い期間にわたって保存することもできません。

献血は、不要不急の外出にはあたりません！

定期的に献血に御協力をお願いします



献血ルームでは、献血をされる方が一時期に集中することを避けるため、**御予約**のうえ来場をお願いしております。また、献血会場へお越しの際は、マスクの着用をお願いします。
献血バスのスケジュールは下記のとおりです。

https://www.bs.jrc.or.jp/ktks/chiba/place/m1_02_index.html

柏献血ルームのほか県内5か所の献血ルームでも献血を受け付けています。

柏献血ルーム：電話 04-7167-8050

所在地 柏市柏2-2-3 榎本ビル5階（1階は、みずほ銀行）

結核検診を受けましょう

Hoe gaat het met jou? How are you?
안녕하십니까?
Kumusta ka? Wie gehts? မနော့သိလား?
Come stai? ¿Cómo estás?
Comment allez-vous? Bạn khỏe không?
तमीलाई कस्तो छ? Как вы?
你好吗? أهلا وسلاما عليكم?
ကျောင်းကော့အေးလား? Apa kabar?
元気ですか?
はい! (肺)
「元気ですか? 肺」～結核検診を受けましょう～

- ・咳やたん、微熱、倦怠感（体のだるさ）が2週間以上続いていませんか？
- ・いつもの風邪と決めつけてしまわずに早めに医療機関を受診していつもと違うところを医師に伝えましょう。

詳細はこちら▶



★ 結核は昔の病気ではありません

～今でも国内で年間15,000人以上が発症しています～

- 結核は、今でも年間15,000人以上の新しい患者が発生し、約2,000人が命を落としている日本の主要な感染症です。
- 結核を発症しても、早期に発見できれば、本人の重症化を防げるだけでなく、大切な家族や友人等への感染拡大を防ぐことができます。
- 早期発見のためには、早めに医療機関を受診すること、定期的な結核健診の受診が必要です。



★ 結核の感染

～結核が進行すると周りの人に感染を拡大させてしまいます～

- 結核の症状（長引く咳・たん、微熱、体のだるさなど）には特徴的なものがなく、早期には目立たないことが多いため、とくに高齢者では気づかないうちに進行してしまうことがあります。
- 結核が進行すると、咳やくしゃみなどによって、空気中に結核菌が飛び散るようになります。その結核菌を吸いこむことにより周りの人に感染が広がります（空気感染）。
- 結核と診断されても、治療を始めれば1～2ヵ月で周りの人に感染させることはなくなり、6ヶ月～9ヶ月の治療期間、医師の指示どおり毎日きちんと薬を飲み続けられます。



★ 早期発見・早期治療のためにも結核健診を受けましょう

- 近いうちに日本で生活をする人をはじめ、すでに日本で生活している人、今後日本へ訪れる予定のある人等すべての人が、学校での定期健康診断や雇入れ時及び定期健康診断等の機会を通じ結核健診をうけて、「元気ですか? 肺」と問かれた時には自信を持って「ハイ(肺)、元気です!」という皆様の元気なお答え、お待ちしております。

